

2024年 オーストラリア視察報告会 「ブリスベン」

2024年
ガバナンス研究科一期生
山崎英昭

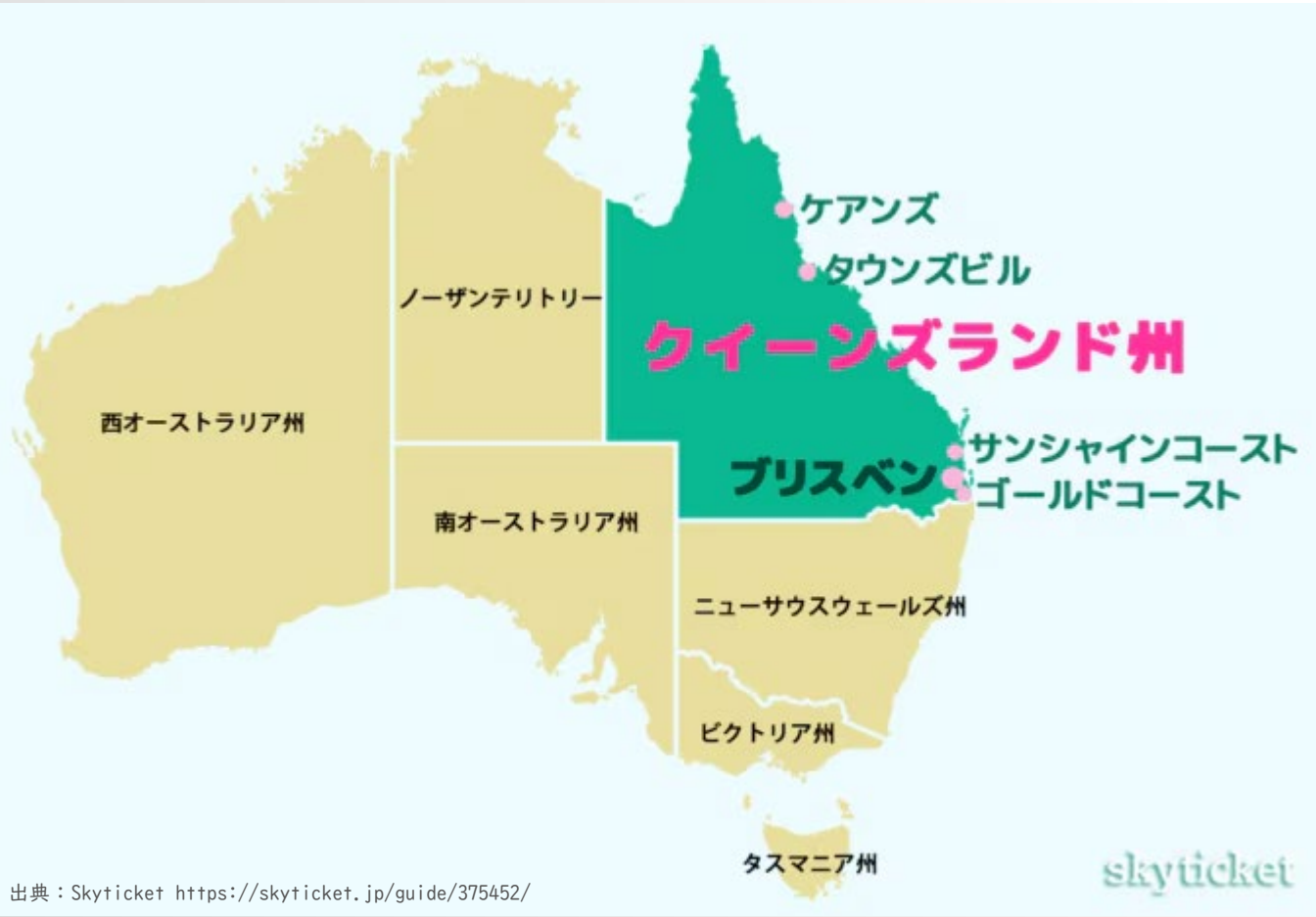
ブリスベンの地理的位置

ブリスベンは、オーストラリアの北東部に位置するクィーンズランド州の州都で、同州最大の都市。

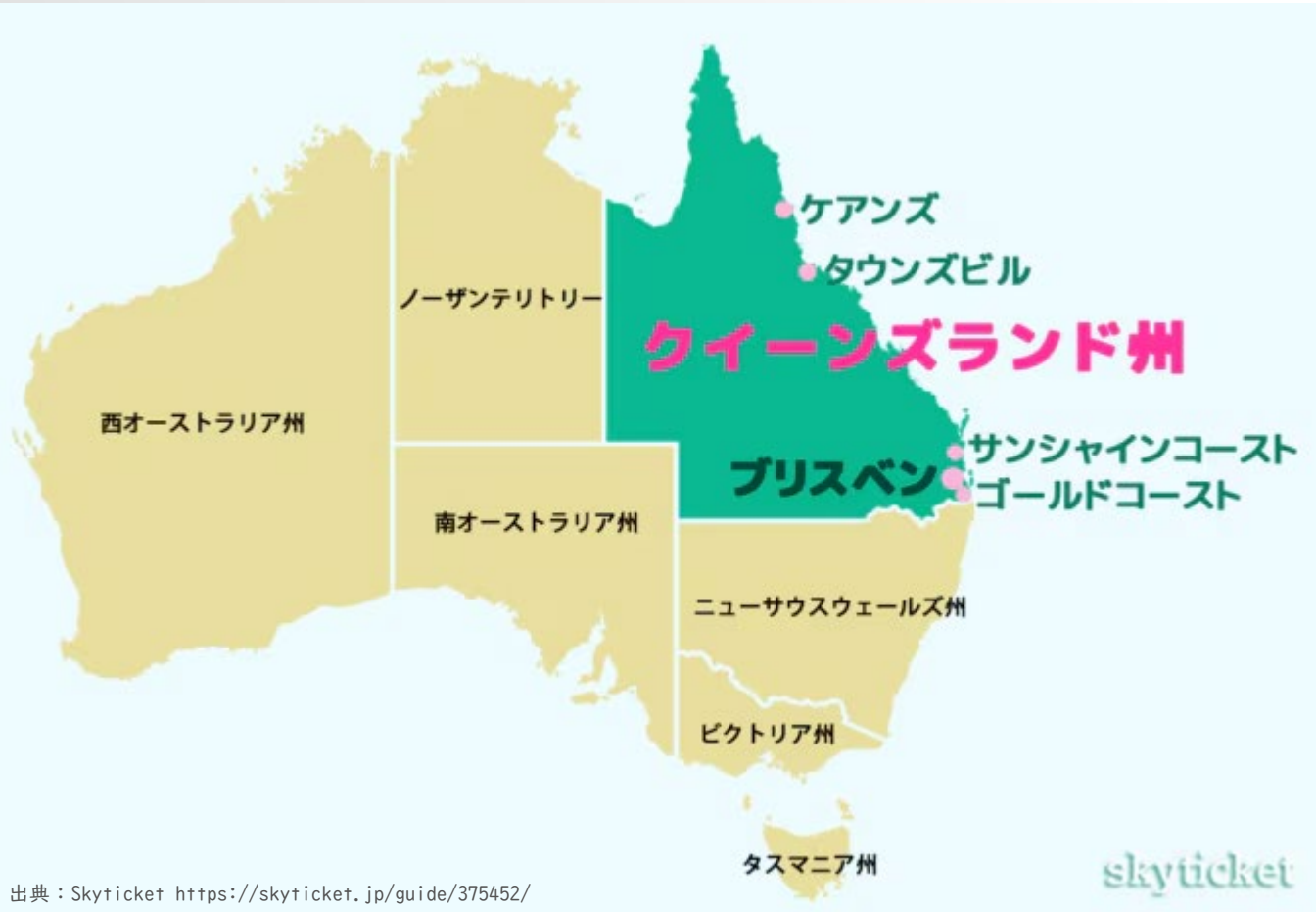
・南緯27度28分、東経153度2分に位置している。南半球にあり、温暖な気候に恵まれた場所である。

・ブリスベンは、ブリスベン川の河口近くに位置している。川は、街の中心部を流れており、街の地形や交通に大きな影響を与えている。川に沿ったエリアは、歴史的に重要な地区であり、現在では観光やレクリエーションのスポットとしても人気である。

・クィーンズランド州の南東部に位置しており、東は太平洋（コーラル・シー）に面している。北にはサンシャインコースト、南にはゴールドコーストという有名な観光地が広がっており、これらの地域とも高速道路や鉄道で結ばれている。



ブリスベンの地理的位置



・ブリスベンは、丘陵地帯に囲まれており、都市全体は比較的起伏のある地形を持っている。

ブリスベン川沿いの低地から、周囲の丘陵地帯にかけて都市が広がっている。

また、ブリスベンの東側にはモートン湾 (Moreton Bay) が広がり、多くの島々が点在している。

・気候地理的位置により、ブリスベンは亜熱帯気候に分類され、年間を通して温暖な気温を保つ。夏は高温多湿であり、冬は穏やかで比較的乾燥している。

この気候は、屋外でのアクティビティや観光に適しているため、国内外からの訪問者が多いのも特徴である。

ブリスベンの歴史



- ブリスベン (Brisbane) は、オーストラリアのクィーンズランド州の州都であり、その歴史はヨーロッパの入植前にさかのぼります。
- ヨーロッパ人が到着する以前、この地域にはアボリジニのトゥーロバル族が住んでおり、彼らは川沿いで生活し、狩猟や採集を行っていました。
- 彼らは長い間、この地域を「メイアンジン」と呼び、今日でもこの名前はブリスベンに関連して使用されることがあります。

ブリスベンの歴史



サー・トーマス・マクドゥーガル・ブリスベーン準男爵
(英: Sir Thomas Makdougall Brisbane, 1st Baronet,
1773年7月23日 - 1860年1月27日)

- ヨーロッパ人の到来
1823年、イギリスの探検家ジョン・オクスリー (John Oxley) がブリスベン川の周辺を探検し、現在のブリスベンとなる土地を発見しました。
この地域は、1824年にイギリス政府によって囚人流刑地として設立され、最初の入植地はレッドクリフ (Redcliffe) に置かれていましたが、後にブリスベン川沿いに移されました。
ブリスベンの名前は、当時のニューサウスウェールズ総督、トーマス・ブリスベン (Sir Thomas Brisbane) に由来しています。
- 自由移住者の増加
1839年に囚人流刑地が廃止されると、自由移住者がブリスベンに住み始め、商業や農業が発展しました。
1842年にはブリスベンは正式に自由移住者に開放され、街の成長が加速しました。
19世紀後半には、ブリスベンはクイーンズランドの主要な港湾都市として栄え、羊毛や砂糖などの産業が発展しました。

ブリスベンの刑罰植民地としての歴史



1820年代に囚人労働によって建設されたオールド・ウィンドミルは、ブリスベンに残る最古の建造物の一つとして知られています。

- ブリスベンは1824年にモートンベイ刑罰植民地として設立され、再犯した囚人のための流刑地として機能しました。
- 初めは現在のレッドクリフに流刑地が設置されましたが、後に現在のブリスベン川沿いに移されました。
- この植民地は、シドニーから遠く離れた場所に位置し、最も悪質な囚人を収容するために選ばれました。
- 当時、イギリスでは軽犯罪でも厳しい罰則が科されており、盗みや詐欺などの軽い犯罪でも植民地に流刑されることがありました。
- 多くの囚人は、今日であれば軽い罪に相当する行為で流刑された者も少なくありません。また、流刑地に送られた人々の中には、生活の苦しさや政治的な理由で罪を犯した人も含まれていました。
- 囚人たちは過酷な労働を強いられ、違反行為には厳しい罰が科されました。
- 多くの囚人は、そこでの過酷な労働を通じて矯正され、後に解放されると自由移住者としてブリスベンや周辺地域で新しい生活を始める人々もいました。

ブリスベンの歴史



1850年に建設されたセント・スティーブン大聖堂

- クイーンズランド州の州都1859年にクイーンズランド州がニューサウスウェールズ州から独立すると、ブリスベンは新しい州の州都に選ばれました。
- その後、ブリスベンはインフラの整備が進み、鉄道や橋の建設、公共施設の設立が進展しました。
- 特に1893年の大洪水や1890年代の不況を乗り越えながら、街は次第にオーストラリア北部の経済的中心地として成長しました。

ブリスベンの歴史



ブリスベン市庁舎はブリスベンのシンボルであり、オーストラリアで最も壮大な市庁舎として知られている。

20世紀から現代へ

- 第二次世界大戦中、ブリスベンは連合軍の太平洋戦線の重要な拠点となり、アメリカ軍のダグラス・マッカーサー将軍がここに司令部を置いたことでも知られています。
- 戦後、ブリスベンはさらに都市化が進み、特に20世紀後半には急速な成長を遂げました。

ブリスベン国際レジャー博覧会 (World Expo 88)



- ブリスベン国際レジャー博覧会 (正式名称: エキスポ '88、英語: World Expo 88) は、1988年にオーストラリアのブリスベンで開催された国際博覧会です。
- 1988年4月30日から10月30日までの期間に開催され、オーストラリアの建国200周年を記念する大規模なイベントの一環として行われました。
- エキスポ '88は、ブリスベン川の南岸 (サウスバンク) に位置する広大な敷地で行われ、世界中から37か国が参加しました。
- 展示会場では、各国や企業が技術革新や文化、観光などに関する展示を行い、訪問者にさまざまな体験を提供し、期間中に約1,800万人の来場者を集める大成功を収めました。
- エキスポ '88のテーマは「レジャー時代」(英語: Leisure in the Age of Technology) であり、当時の新しいテクノロジーとレジャーの融合を探求する内容でした。

ブリスベン国際レジャー博覧会 (World Expo 88)



会場となったサウスバンク地区の現在

- エキスポ '88の影響
エキスポ '88は、ブリスベン市とその周辺地域に大きな経済的・文化的影響を与えました。このイベントをきっかけに、ブリスベンは国際的な都市としての地位を確立し、特に観光業が発展しました。
- また、博覧会の会場であったサウスバンク地区は、博覧会終了後に再開発され、現在は文化施設や公園、レストラン、ショッピングエリアとして人気の高い観光地となっています。
- エキスポ '88は、ブリスベンにとって歴史的に重要な出来事であり、都市の発展と国際的な認知度向上に大きく貢献しました。